

富山市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年2月～24年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 郊外における住宅地・商業地の開発
- 持ち家率(約8割)・住宅平均延床面積(146m²/世帯)が全国1位
- 1世帯あたりの自動車保有台数も全国2位(1.73台/世帯)



○低密度の市街地が郊外に拡散

※人口集中地区の人口密度が、全国の県庁所在地で最下位(41人/ha)

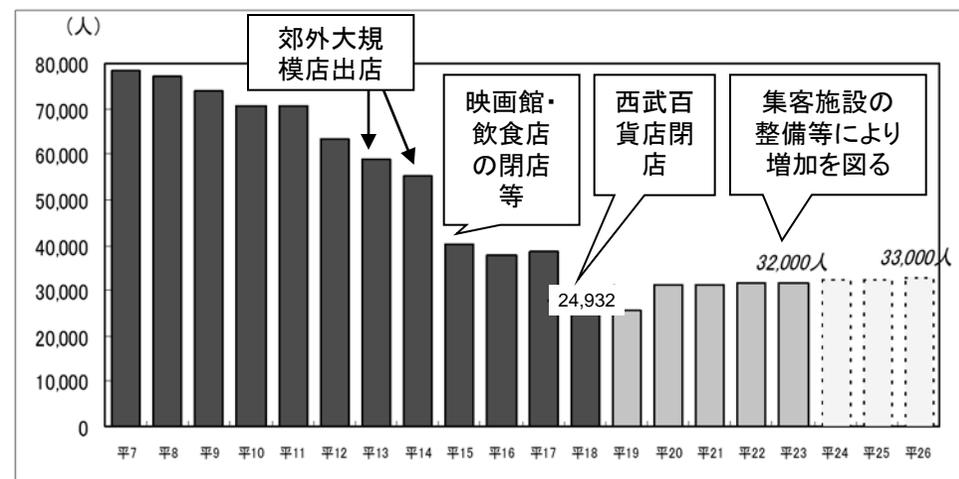
○中心市街地の人口減少 (H7:27,233人 → H18:24,099人)

○中心市街地の商業機能の衰退 (小売販売額 H6:1,973億円 → H16:1,182億円)

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H23年)
公共交通の利便性の向上	路面電車市内線一日平均乗車人数	10,016人(H17)	13,000人(約1.3倍)
賑わい拠点の創出	歩行者通行量	24,932人(H18)	32,000人(約1.3倍)
まちなか居住の推進	居住人口	24,099人(H18)	26,500人(約1.1倍)

(歩行者通行量の動向と数値目標) * 毎年1回、8月休日に定点調査



市長の強いリーダーシップの下、賑わいの再生を目的として、①中核商業地区における商業・サービス施設、文化施設、住宅等施設の重点的整備、②既存の路面電車の再活性化を含む公共交通依存度の向上により、コンパクトなまちづくりに取り組む。

富山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

公共交通活性化

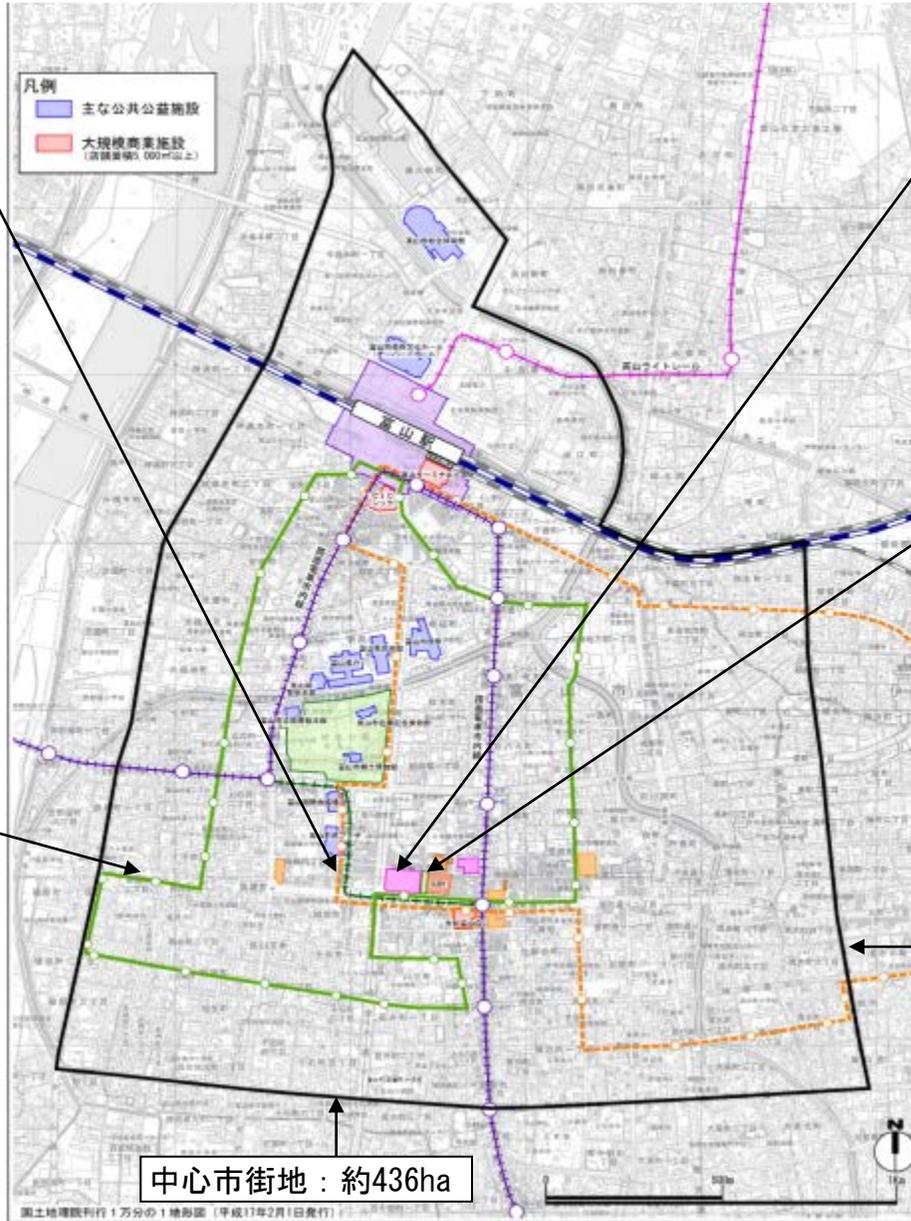
- 路面電車を環状線化し、利便性向上(21年度)



- コミュニティバスが中心市街地を巡回



- おでかけバス事業(高齢者の中心市街地へのおでかけが、富山市内どこからでも1回100円)



賑わい拠点創出

- 地元百貨店がキーテナントとなる再開発事業による大型商業施設を整備



- 全天候型ガラス屋根の広場(グランドプラザ)、映画館、飲食店横丁を整備



まちなか居住推進

- 共同住宅の建設を促進
- まちなか居住推進事業(中心市街地での住宅建設や家賃を補助)